

八戸

八学大ラグビー部 5年連続全国出場

市長に1勝誓う

19日に開幕する第60回全国大学ラグビー選手権に八戸学院大学男子ラグビー部が北海道・東北地区代表として出場する。同部の工藤祐太郎監督、山下祐史ヘッドコーチ、西野功晴主将の3人が16日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に「悲願の1勝を果たしたい」と活躍を誓った。

本年度東北リーグ1位となった八学大は、東北と北

海道の各リーグ1、2位の4チームが全国大会出場を懸けた北日本大学ラグビー交流戦で優勝。5年連続6回目の全国への切符を手



全国での活躍を誓う西野主将（右から2人目）ら

した。初戦は19日、東海・北陸・中国・四国地区代表の中京大学と対戦する。

工藤監督は「交流戦はこれまでで一番良い内容だった。いい形で全国大会に臨める」と述べ、山下ヘッドコーチは「今年のチームはキックが得意。しっかり敵陣にキックしてトライを取りたい」と抱負を述べた。

4年生の西野主将は「1年の時から4年連続で全国の舞台に出場しているが、まだ一度も勝ったことがない。自分のためにも勝ちたいし、後輩にも全国での勝利を経験してほしい」と闘志を燃やした。（三好陽介）